

国会審議に向けてのご署名をお願いいたします！

難病への理解と支援に力をお貸してください

熊本にて大きな地震が起きてしまった平成 28 年 4 月 14 日と 16 日…その映像を見て「もう止まって下さい」と願いながら涙が止まりませんでした。しかし泣いてばかりではいけない・車で行ける距離の



方々の力になんとかなりたい！と思った私は、次の週には物資を運ばせて頂くことから始め、熊本地震・九州北部豪雨・西日本豪雨などの被災地などへ、学生や一般含め延べ人数約 1,300 名以上のボランティアの方々をお連れしてまいりました。支援物資の配布や泥出しなどの作業及び産業復興支援なども行い、活動だけではなく人生におけるの学

びになれるような講演を学校や職場研修なども行わせていただいております。ひとりの思いから立ち上がることから始めましたが、「みんなでみんなを助けたい！」という思いで長崎から頑張りたいと思い、ご賛同下さったみなさんのおかげをもちまして NPO 法人立ち上げ、定款の中に『障がい者や高齢者の支援と、介護者の援助事業活動』という事業を掲げており、この度『筋痛性脳脊髄炎・慢性疲労症候群』の方の支援をさせていただきます。

実はこれまでの活動を応援してくれていた友人がこの病気であり、その友人の繋がり「NPO 法人筋痛性脳脊髄炎の会」の理事長である篠原三恵子氏とのご縁をいただき、講演やドキュメンタリー映画を拝見させていただきました。

下記のように寝たきりの状態になりながらも、病気としての正しい診断と治療・および社会的保障と支援が受けられずにいる患者の方々を救うべく、国に対して陳情を重ねてきておられます。しかしながら、治療の研究が進まず行政にもきちんとして認識をもっていないため、仕事どころか動くこともできないのに、まともな支援を受けることもできない患者の方が多数です。

私が、災害支援を始めたきっかけは、「普通に生きられなくなった方のお力になりたい」との思いでした。その根本にあるのは、私は小さいころに受けた虐待やいじめなど、安心して生きることができなかったということを通し、原因は違っても普通に生きられない苦しみが分かるからです。

応援してくれたその病気の友人は「元気だったら一緒に活動をしたかった」と言ってくれました。そして、多くの患者の方々の力になれるよう、研究班として立ち上がられた国立精神・神経医療研究センターの山村先生もと、自らの命をかけて治験者となっています。

普通に食事をしたり睡眠をとれるということは、当たり前ではなく本当はとても幸せなこと…それができずにいらっしゃる方々を署名という形でご支援いただけませんか。たくさんの方のご署名により、国会議員の方に思いを伝えたいと思っております。なにとぞ、ご協力をお願いいたします。

NPO 法人有明支縁会 理事長 草野紀視子



●お願い●

- 1、ご協力いただける方は、衆議院・参議院の両方に提出するため、2枚にご記入ください。
- 2、ご本人が署名される場合は、印鑑は不要です。
- 3、お書きいただいたものは下記にご郵送いただくか、こちらから受け取りにまいりますので、たくさんの方にお願ひしていただくようご協力ください。

※多くの署名用紙が必要な場合は、こちらで印刷させていただきますので、ご連絡ください。

長崎県諫早市飯盛町佐田 26-6 090-2506-0813

HP-<http://tasukeitai.org/> mail-info@tasukeitai.org